

本校の教育について

本校では、生徒たちが、将来社会で自立して生きていく力を育てることを目標に教育活動を進めています。「生きる力」としての学力保障をはじめとして、人間関係を築く力や、将来を見すえ、生き方を考える力の育成にとりくんでいます。そのためには、家庭・地域と連携し、3年間を見通した指導が必要であると考え、授業や日常の活動の他、人権・総合学習や道徳・学活を組み立てています。

3年間を見通した人権・総合学習

<目的> 生きるための基礎学力と豊かな人間関係づくり、主体的に生活する態度を育てる。

<目標> 生徒たちがさまざまな人との出会いや体験活動を重ね、教師や仲間と共に体験の意味を共感することを通して、自分を見つめ、自分の生き方を深く考える力を育てていく。

「生き方を考える総合的な学習」

	総合学習の主な内容
1年生	「地域の人々から学ぶ」「ボランティアを体験する」他
2年生	「地域で働く(3日間の職場体験)」「進路学習」「ボランティアを体験する」他
3年生	「平和について学ぶ」「生き方と進路」「ボランティアを体験する」他

教科の学力を確かなものに

子どもたちが授業内容を確実に身につけられるように、授業の改善に努めています。学級での教え方に工夫(誰もが分かりやすい《ユニバーサルデザイン》授業)した一斉授業のほか、さらにきめ細やかな指導ができるように少人数授業、ティームティーチング、個々の学力に応じたとりくみを行っています。

また、評価にも工夫を加え、個々の生徒の学習努力を絶対評価や観点別評価をしながら、学習の仕方のアドバイスなどを伝え、個に応じた指導の充実を図っています。その他にも、1時間目が始まる前の15分間はモーニングスタディで国・社・数・理・英のプリントに毎日順番に取り組みます。このとりくみを家庭学習とつなげるノート(自主学習ノート)を用意し、基礎基本の学力の定着を図っています。朝の読書にも取り組んでいます。

地域とつながるさまざまな行事

本校では、さまざまな行事に、保護者や地域の皆様と協力してとりくんでいます。文化祭は「学校と地域の二中文化祭」として、毎年PTAや地域から数多くのご参加をいただき、盛大に行われています。体育祭も、「地域の祭二中体育祭」として、保育所や幼稚園の子どもたちも参加して楽しい行事を展開しています。また、学期ごとにとりくんでいるボランティアタイムでは生徒に地域ボランティアに参加する意欲を育てています。このように本校は「地域に開かれた学校」として、地域の皆様とのつながりを大切に、子どもたちの育ちを多面的にかつ継続的に見守り支えていくネットワークづくりや将来を見すえた生き方のモデルを示す等の教育活動を進めています。

2学期制と3学期制を併用

本校では、国・社・数・理・英の5教科は3学期制(1学期・2学期・3学期)です。小学校の時と同じように学期毎に学習を評価し、通知表でお知らせしています。

音・美・保体・技家は、授業時数の関係で子どもたちの負担軽減を考慮し、2学期制を導入しています。2学期制とは1年を前期(4月～10月中旬)・後期(10月中旬～3月)に分け、評価していく方法です。